

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとする。

事業番号

0092

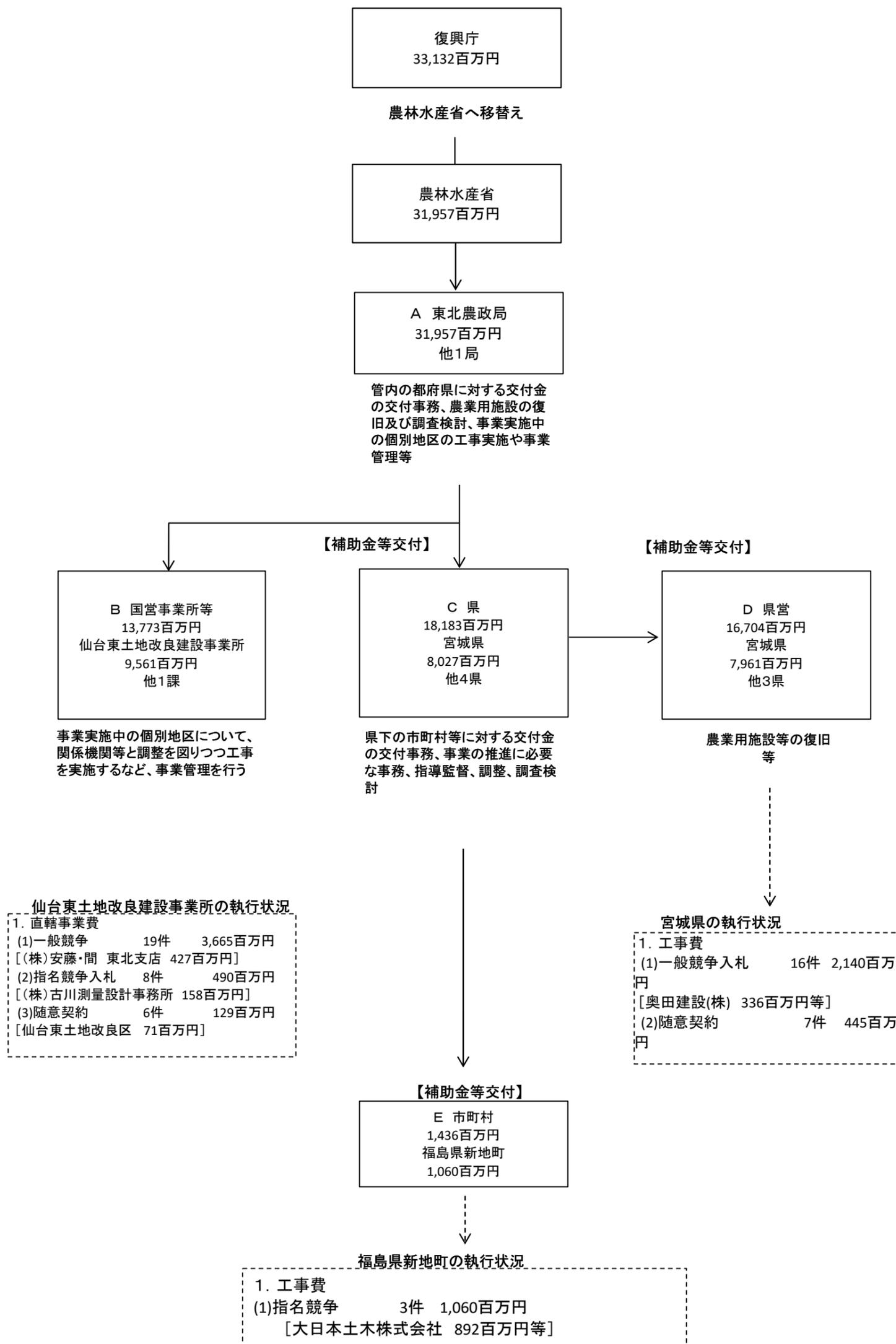
平成31年度行政事業レビューシート(復興庁)

事業名	農地・農業用施設等の復興関連事業			担当部局庁	復興庁	作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)	参事官 増田 直樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	土地改良法第85条 東日本大震災に対処するための土地改良法の特例に関する法律 農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律 第3条 他			関係する計画、通知等	食料・農業・農村基本計画(平成27年3月31日閣議決定) 土地改良長期計画(平成28年8月24日閣議決定)等			
主要政策・施策	-			主要経費	公共事業			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災の被災地を災害に強い新たな食料供給基地として再生・復興させるため、農地や農業用施設等を復旧・整備するほか、余震等により損壊のおそれのある農業水利施設の耐震対策等を実施							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○被災した施設等の災害復旧・復興及び復旧に併せた再度災害防止に係る整備等を実施。 ○被災農地に農業用水を安定的に供給する農業水利施設のうち、余震により損壊のおそれがある施設の改修・整備等を実施。 災害復旧事業 直轄:65/100(農業用施設)、50/100(農地)等 補助:65/100(農業用施設)、50/100(農地)等 土地改良事業等 直轄:2/3等、補助1/2等							
実施方法	委託・請負、補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求		
		当初予算	39,134	32,100	33,274	21,501	19,556	
		補正予算	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	39,882	23,122	14,446	14,588		
		翌年度へ繰越し	▲ 23,122	▲ 14,446	▲ 14,588			
		予備費等	-	-	-			
	計	55,894	40,776	33,132	36,089	19,556		
	執行額	48,671	37,858	31,957				
執行率(%)	87%	93%	96%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	124%	118%	96%					
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由				
	農地・農業用施設等災害復旧等事業	10,964	9,298	令和2年度より、換地清算金の予算要求を行うこととしている。「その他」は除塩事業である。				
	農村地域復興再生基盤総合整備事業	8,697	8,238	なお、換地清算金は、土地改良法に基づき国営事業を実施した際に、土地所有者の換地(工事後の土地)と従前の土地の価格に不均衡が生じた場合に対し金銭で清算するもので、令和2年度に国から支払い徴収を行うものである。				
	直轄農業水利施設放射性物質対策	851	841	◎土地改良法 第89条の2第10項で準用する同法第54条の3				
	福島農業基盤復旧再生計画調査	954	844					
	換地清算金	0	300					
	その他	35	35					
計	21,501	19,556						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	津波被災農地(復旧対象農地)での営農再開を可能とすること。 ※農地転用等により復旧不要となる農地(見込みを含む)を除く	成果実績	ha	16,770	17,630	18,150	-	-
		目標値	ha	16,770	17,610	18,200	-	-
		達成度	%	100	101.1	99.7	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	被災市町村が年度別に策定した復旧計画農地面積を集計した数値							
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載						チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込		
	活動実績	当初見込み								
	津波被災農地(復旧対象農地)で、営農再開に向けた取組を行う面積。	活動実績	ha	850	860	520	-	-		
		当初見込み	ha	850	840	570	270	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込			
	本事業は、多様な工事内容を含むものであり、工事内容毎に工事費が異なることから、単位当たりコストの算定は困難	単位当たりコスト					-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-		
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	2. 農業の持続的な発展								
	施策	⑧ 構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業								
	測定指標	定量的指標	単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 -年度	目標年度 31年度		
		震災の被災地域における営農再開が可能となる農地面積	実績値	面積 ha	16,770	17,630	18,150	-	-	
			目標値	面積 ha	16,770	17,610	18,200	-	18,420	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	東日本大震災の被災地を災害に強い新たな食料生産基地として再生・復興するため、農地や農業用施設等を復旧・整備するほか、再度災害等により損壊のおそれのある農業水利施設の耐震対策等を実施する。 農地の復旧・整備を行うことにより、震災の被災地域における営農再開が可能となる農地面積の増加に直接寄与する。									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2018	取組事項	分野:							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 -年度	30年度	31年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)	単位	計画開始時 -年度	30年度	31年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	評価	○	事業の目的である東日本大震災の被災地を災害に強い新たな食料生産基地として再生・復興させることは、国民や社会にとって不可欠な食糧の安定供給等に資するものであり、ニーズを的確に反映したものである。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	評価	○	東日本大震災の被災地を災害に強い新たな食料生産基地として再生・復興させることは、国の責務である食糧の安定供給等に資するものであり、農業者等のみをもってして、東日本大震災により被災した農地・農業用施設等を復旧することは困難であるため、国が補助するものである。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	評価	○	本事業は東日本大震災の被災地を災害に強い新たな食料生産基地として再生・復興することの達成手段として必要かつ適切である。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	評価	○	直轄事業においては、一般競争入札などの競争性のある方法を適用している。また、入札の妥当性は、第三者機関である入札監視委員会等により審議している。補助事業においても、一般競争入札などの競争性のある方法により支出先を選定している。						
事業の効率性	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	評価	有	また、一者応札や随意契約をなくすために、技術者や適正工期の確保に向けて、工事の早期発注を推進している。						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	評価	有							
	受益者との負担関係は妥当であるか。	評価	○	農林水産省施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措置に関する法律等にて国と地方の負担割合を規定している。						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	評価	-	工事内容や人件費、資材費の変動により工事費が変動することから、年度間の単位当たりコストの比較は適当ではない。						
資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	評価	-								
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	評価	○	費目・使途については、事業目的に即した工事費等に限定している。							

	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	執行率90%以上				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	繰越額が大きい理由としては、他省庁事業との調整や地元との協議調整に不測の日数を要したことに伴い、工事の年度内完了が困難となったこと等によるものである。				
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	現場発生材の有効活用等、工事コスト削減の取組を行っている。				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	本事業で営農再開に向けた取組を実施することにより、津波被災農地における営農再開可能面積が増加している。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、災害復旧事業計画概要書の査定実施や事業着手、実施計画、事業計画の変更時における財務省協議などの手続きを通じて有効性を担保している。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	農業・農村の復興マスタープランに沿って、営農再開に向けた取組を着実に進めているところであり、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業は被災した農業施設等を復旧するものであり、事業の採択にあたっては、当該農業施設等の活用を前提としている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)						
	所管府省名	事業番号	事業名				
	復興庁	0121	山林施設災害復旧等事業(林野庁)				
	復興庁	0122	漁港関係等災害復旧事業(水産庁)				
点検・改善結果	点検結果	<p>【国費投入の必要性】</p> <p>・災害復旧事業は、災害対策基本法に規定されている国及び地方自治体の実施責任に基づき、被災した施設等の災害復旧及び復旧と併せた再度災害防止に係る整備等を実施するものであり、災害が発生しやすい我が国においては、農業者等のみをもってしては復旧を迅速に処理することが困難であることから、東日本大震災からの復旧・復興により、農林水産業の維持を図り、併せてその経営の安定に寄与するためには、都道府県が事業主体に対し補助するのに要する経費等に対して国費を投入する必要がある。</p> <p>【事業の効率性】</p> <p>・コストについては、事業主体がその縮減に努めているが、国としても事業主体に対して指導等を行っている。</p> <p>【事業の有効性】</p> <p>・本事業は、被災地の営農再開を目指し、「農業・農村のマスタープラン」等に基づき災害復旧事業等を実施するものである。</p>					
	改善の方向性	<p>厳しい財政状況を踏まえ、コスト削減を推進することは重要であることから、既存施設や現場発生材の有効活用等、工事コスト削減の取組を行っているところであり、引続きコスト削減を徹底していくこととしている。</p>					
外部有識者の所見							
対象外							
行政事業レビュー推進チームの所見							
現状通り	毎年、多額の繰越を出していることを踏まえ、事業計画の進捗状況を把握し、事業規模の精査を行うこと。						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況							
現状通り	事業の執行状況を勘案し、引き続き、効率的・効果的な予算の執行に努めていく。						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	94・100	平成25年度	125
平成26年度	144	平成27年度	0144	平成28年度	0177	平成29年度	0092
平成30年度	復興庁 (0088)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位：百万円)

※契約金額であり、県、市等の負担額を含む。
※建設費は予定価格250万円以上、設計費は予定価格100万円以上を対象とする。

A.東北農政局			B.仙台東土地改良建設事業所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
補助金交付	県等が実施する農業用施設等の災害復旧事業にかかる補助金の交付	18,184	工事費	農業用施設等の災害復旧工事のために必要な工事費	8,868
直轄事業費	農業用施設の災害復旧等を実施	13,773	測量設計費	農業用施設等の災害復旧工事のために必要な調査・測量・設計業務費	507
			用地費及補償費	災害復旧工事に要する工事借地等	109
			換地計画委託費	区画整理工事のために必要な換地計画委託費	66
			宿舍費	災害復旧事業に従事する職員の宿舍借上料	7
			事業車両費	災害復旧事業に伴う監督等のための連絡車賃料	4
計		31,957	計		9,561
C.宮城県			D.宮城県		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
県営事業費	農業用施設等の復旧・整備等の県営事業実施経費	7,965	工事費	農業用施設等の復旧・農地復興整備等のために必要な委託費等	7,421
補助金交付	市町村等が実施する農業用排水施設等の復旧・整備に係る補助金の交付	62	委託費	農業用施設等の復旧・農地復興整備等のために必要な委託費等	280
			補償費	農業用施設等の復旧・農地復興整備等のために必要な委託費等	89
			賃借料	農業用施設等の復旧・農地復興整備等のために必要な委託費等	49
			公用財産取得費	農業用施設等の復旧・農地復興整備等のために必要な委託費等	5
			補助金	農地復興整備等を行うための団体に対する補助金	117
計		8,027	計		7,961
E.福島県新地町			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	農地農業用施設等の復旧	1,060			
計		1,060	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.東北農政局

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東北農政局	5000012080001	国が実施する農業用施設等の復旧事業、管内の県に対する補助金の交付事務、指導監督業務等	31,957		-	--	
2	関東農政局	5000012080001	徴収した負担金の精算に伴う支出	0		-	--	

B.国営事業所等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	仙台東土地改良建設事業所	5000012080001	事業実施中の個別地区について、関係機関等と調整を図りつつ工事を実施するなど、事業管理を行う。	9,561		-	--	
2	東北農政局農村振興部防災課	5000012080001	事業実施中の個別地区について、関係機関等と調整を図りつつ工事を実施するなど、事業管理を行う。	4,212		-	--	

C.県

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宮城県	8000020040002	県下の市町村に対する補助金の交付事務、事業の推進に必要な事務等	8,027		-	--	
2	福島県	7000020070009	県下の市町村に対する補助金の交付事務、事業の推進に必要な事務等	7,776		-	--	
3	岩手県	4000020030007	事業の推進に必要な事務等	2,003		-	--	
4	青森県	2000020020001	事業の推進に必要な事務等	377		-	--	
5	千葉県	4000020120006	過年度事業費の精算	0		-	--	

D.県営

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	宮城県	8000020040002	農業用施設等の復旧等	7,961	補助金等交付	-	--	
2	福島県	7000020070009	農業用施設等の復旧等	6,403	補助金等交付	-	--	
3	岩手県	4000020030007	農業用施設等の復旧等	1,963	補助金等交付	-	--	
4	青森県	2000020020001	農業用施設等の復旧等	377	補助金等交付	-	--	

E.市町村

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福島県新地町	5000020075612	農業用施設等の復旧等	1,060	補助金等交付	-	-	
2	福島県浪江町	8000020075477	農業用施設等の復旧等	149	補助金等交付	-	-	
3	福島県南相馬市	2000020072125	農業用施設等の復旧等	98	補助金等交付	-	-	
4	宮城県南三陸町	4000020046060	農業用施設等の復旧等	62	補助金等交付	-	-	
5	福島県富岡町	1000020075434	農業用施設等の復旧等	51	補助金等交付	-	-	
6	福島県飯舘村	3000020075647	農業用施設等の復旧等	16	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	株式会社女藤・間 東北支店	-	農業用施設等の復旧等	427	一般競争契約 (総合評価)	2	93.8%	
2	B	株式会社丸高 仙台支店	-	同上	228	一般競争契約 (総合評価)	2	94.4%	
3	B	宮田建設株式会社	9370401000578	同上	227	一般競争契約 (総合評価)	1	97.4%	
4	A	株式会社古川 測量設計事務所	8370201000374	同上	159	公募型競争契約 (総合評価)	9	81.3%	
5	A	株式会社大江 設計	7370001007496	同上	154	公募型競争契約 (総合評価)	9	82.9%	
6	A	大江設計株式会社	8390001009787	同上	107	公募型競争契約 (総合評価)	10	82.5%	
7	A	いであ株式会社 東北支店	-	同上	46	一般競争契約 (総合評価)	2	80.5%	